

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部	健康部	課	健康課
---	-----	---	-----

施設名称	[31] 東京都台東区立台東病院
------	------------------

指定管理者の名称	公益社団法人地域医療振興協会	指定期間	H21. 4. 1 ~ H31. 3. 31
----------	----------------	------	------------------------

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	全国のへき地を中心とした地域保健医療の調査研究及び地域医学知識の啓蒙と普及を行うとともに、地域保健医療の確保と質の向上等住民福祉の増進を図り、もって、地域の振興に寄与する。
(2) 類似施設の管理実績	病院（21箇所）、診療所（22箇所） 老健（13箇所）、その他（1箇所）
(3) 経営状況	22年度 収入額 74,889,463,787円 支出額 72,747,233,148円 収支差額 2,142,230,639円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区千束三丁目20番5号
(2) 設置目的	区民の健康保持に必要な医療を提供するため
(3) 利用者	医療が必要な方
(4) 開館日・時間	・入院及び初期救急は、通年、24時間 ・外来受付は日曜・祝日・年末年始以外 月曜から金曜は8:30～11:30及び13:30～16:00、土曜は8:30～11:30
(5) 規模	延床面積 17,328㎡（うち5,205㎡は老人保健施設）、鉄筋コンクリート造 病床数120床（一般病床40床、療養病床80床）
(6) 人員体制	162.6人 内訳：医師（常勤12、非常勤6）、薬剤師3、放射線技師3、臨床検査技師（常勤4、非常勤0.3）、栄養士2、MSW3、療法士17、視能訓練士1、看護職員（常勤62、非常勤6.5）、介護職員22、事務（常勤17、非常勤4.8）

3. 事業（サービス提供）の概要

(1) 委託事業	①医療の提供に関すること ②病院の施設及び設備の維持管理に関すること ③病院の利用料金の徴収、減免及び還付に関すること ほか
(2) 自主事業	ミニコンサート、待合健康教室及び病病連携会議等により、地域や各連携機関と積極的に交流を行っている。

4. 予算決算の推移

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	—	—	—	384,347,000	227,229,000
	料金収入等	—	—	—	846,868,000	1,224,849,721
	管理経費	—	—	—	1,231,215,000	1,472,912,254
決算	委託料	—	—	—	410,757,415	230,586,625
	料金収入等	—	—	—	924,246,994	1,467,232,058
	管理経費	—	—	—	1,385,049,297	1,637,137,923
	収支	—	—	—	-50,044,888	60,680,760

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
一般病床延患者数	人	—	—	9,774	12,139
療養病床延患者数	人	—	—	9,257	12,074
回復期リハ病棟延患者数	人	—	—	7,954	12,811

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値 (24年度)	20年度	21年度	22年度
病床利用率	%	88.1	—	62.0	84.5
1日あたり外来患者数	人	188	—	94	159

7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

従事する医師等の基礎的な情報をホームページや院内に掲示した。退院時院外カンファレンスの実施や患者状態連絡表の改良により、地域の医療機関との連携を図った。高額医療機器の共同利用にインターネット予約を導入し利便性を高めた。区民の日頃からの健康づくりを支援するため、健康教室や健康相談等を積極的に実施している。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成 [2]	(f) 開館時間等の遵守 [2]	(b) サービス水準 [3]	(g) 自主事業の成果 [2]
	(c) 職員配置 [2]	(h) 個人情報保護 [2]	(d) 職員研修 [2]	(i) 緊急時対応マニュアル [2]
	(e) 案内・接遇 [2]	(j) 警備・防犯体制 [2]		
(2) 施設の維持管理 平均 [2.1]	(a) 建物保守・設備機器点検 [2]	(e) 危険箇所等の確認 [2]	(b) 備品の管理 [2]	(f) 管理記録の作成・保存 [2]
	(c) 清掃・衛生管理 [3]	(g) 業務委託の事前承認 [2]	(d) 施設の修繕 [2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価 [2]	(d) 利用しやすい環境整備 [2]	(b) 苦情・要望への対応と報告 [2]	(e) 関係団体・地域との関わり [2]
	(c) 利用者数の目標達成 [2]			
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 [2]	(c) 収支計画の達成 [2]	(b) 経費削減のための取組み [2]	(d) 利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価

S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	病床利用率・外来患者数ともに、着実に増加している。入院患者の75%程度が70歳以上であり、高齢者の慢性疾患に対応する病院として機能している。平均在院日数も適正である。
(2) 施設の維持管理	A	各種の保守点検、清掃及び衛生管理が適切に実施されている。施設利用者が快適に過ごせるような環境が維持されている。
(3) 利用者の満足度	A	患者の意見箱を増設したことにより、利用者等の意見を運営に活かす体制を整備した。意見の中には好意的なものもあり、要望等については運営改善につなげている。
(4) 歳入歳出	A	スタッフの整備や運営改善等により、病床利用率や1日あたり外来患者数が着実に増加している。診療報酬改定の影響もあり、前年度より収支が改善した。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当 運営協議会の意見や患者の意見箱等を活用し運営改善に取り組み、入院・外来利用者数が着実に増加している。利用者の中の高齢者が占める割合も高く、慢性期疾患に対応した病院として機能している。

11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

経営を安定的に維持していくために、高額医療機器の稼働率を上げ、区民や地域の医療機関等へ病院の役割・機能を周知することにより、引き続き利用者の確保に努める。今後は、在宅医療の後方支援病院として、時間外の救急対応を改善し、より一層地域の医療機関等と顔の見える連携を図る必要がある。